

水道だより（第3回）

長野県 飯島町 建設水道課水道係

～いいじまの水がごちそう
豊かな未来へつなぐ～



～ 令和6年12月 ～

目 次

1. はじめに	・・・	1
2. 水道事業の現状と課題	・・・	2
3. 独立採算制	・・・	3
4. 給水原価と供給単価	・・・	4
5. 飯島町水道事業	・・・	7



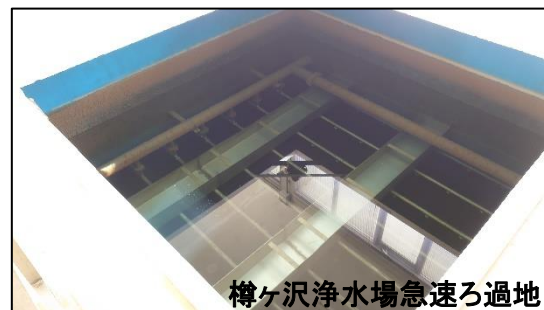
「水道だより」はじめました！

飯島町の水道の現状や課題を多くの方々に知ってもらうために、水道だよりのホームページ連載をはじめました。

1. はじめに

水道だより第2回では、飯島町の水道料金について説明をさせていただきました。

最終回となる今回は、飯島町の今後の方針についてお知らせします。



今回のテーマは「飯島町の今後の方針について」

2. 水道事業の現状と課題

飯島町では、町内全域に水道水を供給し、利用者の皆さんからいただいた水道料金で水道事業を運営しています。今のところ収支は「黒字」となっていますが、今後、人口減少による収益の減少、老朽化や漏水による修繕費の増加、災害による損害等により、赤字経営に反転することも考えられる中、飯島町では次の4つの課題に取り組んでいきます。

1. 老朽化した管路の修繕・更新を行う。
2. 浄水場も含め、施設の機器・設備の維持管理・更新を行う。
3. 経営基盤の強化を図るため、中川村への用水供給事業のさらなる推進と、近隣自治体との広域連携の検討を進める。
4. 独立採算制の原則に基づき適切な経営を行う。



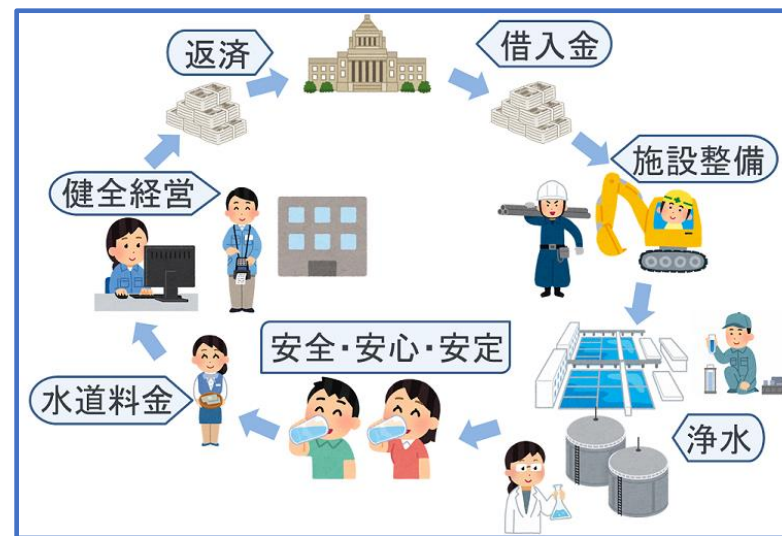
これら、4つの課題を解決するために、役場内の部署を横断して、水道事業経験者や有資格者で、（仮称）検討委員会を組織して議論を重ねています。

今は、特に樽ヶ沢浄水場の建て替えについての検討を行っています。

3. 独立採算制

水道事業は、地方公営企業法のルールで「その経費は地方公営企業の経営にともなう収入をもって充てなければならない」と定められています。これを「独立採算制の原則」といいます。

つまり、水道事業の「費用」は水道の「収益」だけでまかなわなければならないことが原則になります。



4. 給水原価と供給単価

川から取水した水をきれいにして、各家庭に送り届けるためにはたくさんの費用がかかっています。

そのような費用等も含めて水1000ℓ（1m³）を作るのにどのくらいお金がかかっているのかを見る指標が、「給水原価」と「供給単価」と呼ばれるものです。

▷ 給水原価：1000ℓの水を作るのにかかるお金のこと(水の原価)

▷ 供給単価：1000ℓの水の販売価格のこと(水の売値)

飯島町の給水原価と供給単価（令和5年度）

給水原価206.83円		供給単価211.04円	
給水原価	$= \frac{\text{年々持続して固定的に支出される経費から} \quad \text{毎年度減価償却費に一定の割合を乗じた額を引いた額}}{\text{その年作られた水のうち} \quad \text{料金収入が得られた水量}}$	供給単価	$= \frac{\text{水道使用者に水道使用量に応じて} \quad \text{お支払いいただいた水道料金の収益}}{\text{その年に作られた水のうち} \quad \text{料金収入が得られた水量}}$

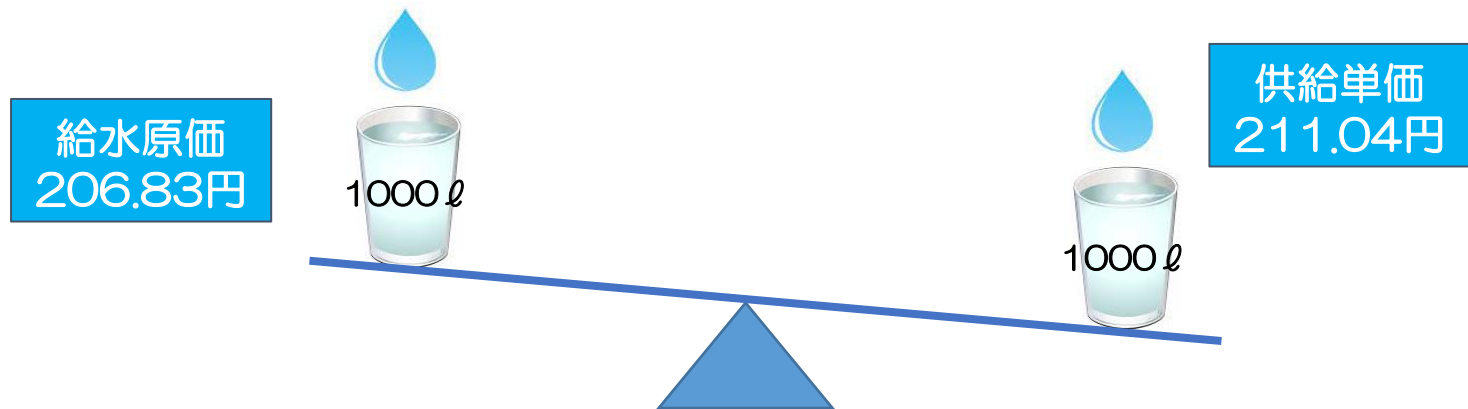
※給水原価及び供給単価は用水供給分を含みます

飯島町の場合は、給水原価に対して供給単価は高い状態となっています。これは、水を作るのに多くの費用がかかっていますが、それを給水収益だけでまかなえている状態です。

つまり「黒字」だというのがわかります。

しかし、ほぼほぼ拮抗していて「とんとん」に近い状況でもあります。施設の更新を行いつつ、大切な水道を今後も維持していくためには、先ほどの課題をしっかりと検討し実践していくことが重要となってきます。

水 1m³ (1000ℓ) 当たりの経費と収益



▷給水原価、供給単価、料金回収率の推移

年度	給水原価	供給単価	料金回収率	備考
平成26年度	210.45円	208.99円	99.30%	
27	207.48円	209.24円	100.85%	
28	198.64円	208.86円	105.15%	
29	197.98円	209.71円	105.92%	
30	191.24円	210.15円	109.89%	
令和元年度	189.83円	210.77円	111.03%	
2	192.05円	208.96円	108.80%	
3	192.85円	209.07円	108.41%	
4	191.49円	209.68円	109.50%	R4.7～中川村へ用水供給開始
5	200.44円	205.20円	102.37%	R5.10～13mm月額基本料金250円値下げ
単純平均	197.25円		106.12%	

※ R 4以降給水原価及び供給単価は用水供給分を含みません

※料金回収率（％）＝供給単価÷給水原価

5. 飯島町水道事業

昨年、中川村への用水供給収益を町民の皆さんへ還元するため、ご家庭の口径13mm基本料金を月額250円値下げしました。これにより、昨年度の料金回収率はいったん下がりましたが、現在、中川村への用水供給は計画の半分ほどの供給量のため、今後収益の増加が見込まれます。また、近隣市町村との広域連携により、経営基盤の強化を図りつつ、老朽化した施設の維持管理や更新を行っていきます。特に浄水場の更新は莫大なお金がかかるため、飯島町だけでなく複数の自治体の共同化等により、持続可能で健全経営が維持できる飯島町水道事業を目指していきます。

これからも、『いいじまの水がごちそう 豊かな未来へつなぐ』を実現するため町民の皆さんとともに、「安全」で「強靱」で「持続」可能な経営を行っていきます。

最後まで読んでいただきありがとうございました。

